



TITLE:

ハイライト : 写真で見る環境保全

AUTHOR(S):

CITATION:

ハイライト : 写真で見る環境保全. 環境保全 2014, 28

ISSUE DATE:

2014-03-01

URL:

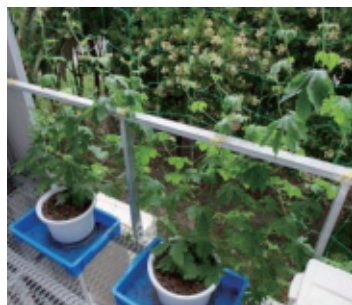
<http://hdl.handle.net/2433/185745>

RIGHT:

京大キャンパスで2年目のグリーンカーテンプロジェクト

📖 グリーンカーテンプロジェクトについては、エコ宣言WEBサイト(<http://eco.kyoto-u.ac.jp/>)内の「ゴーヤブログ」でも詳しくご覧頂けます。本ページの写真は、学内外の里親の皆様からご提供頂いたものです。環境科学センターで種から育てたゴーヤを、希望者(里親)にお配りして、育てて頂こうという取組。学内落ち葉で作った堆肥もあわせて、ご活用頂いております。

6月成長開始



5月里親の元で
生存圏研究所



附属病院



女性研究支援センター



人間・環境学研究科



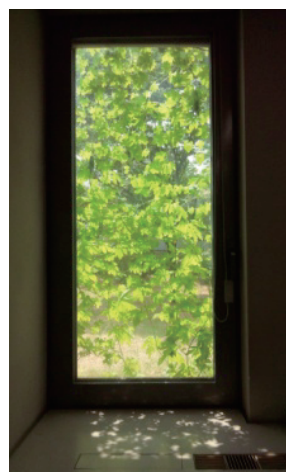
理学研究科



野生動物研究センター



農学研究科

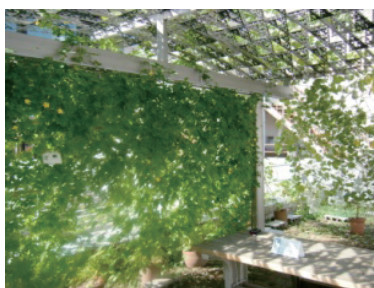


福井謙一記念研究センター



伸びた先は3階の窓
環境科学センター

楽しみ方も
様々♪



ヘチマのカーテンと、その実
から作ったランプ
人間・環境学研究科



ゴーヤチャンプルー
福井謙一記念研究センター



京大初のサステナブルウィーク「エコ〜ると京大」2013

全員参加型で環境負荷を低減した、持続可能なキャンパスの実現を目指している京都大学。その強化イベントとして、2013年6月24日(月)～30日(日)の期間、吉田キャンパスにて「京都大学サステナブルウィーク「エコ〜ると京大」」を初めて開催しました。



「もったいない」
＊ 物々交換市
(ブツ市)



＊ 環境問題
情熱トークバトル

＊ スペシャル京大ごみ拾い



キャンパスの外を一周して

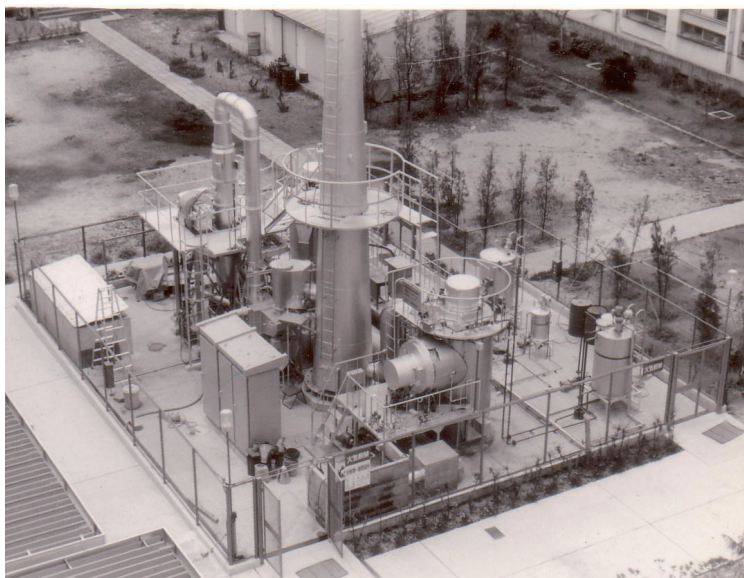


集めたごみを前に記念撮影

ありがとうKYS！

京都大学有機廃液処理装置(KYS)運転の歴史

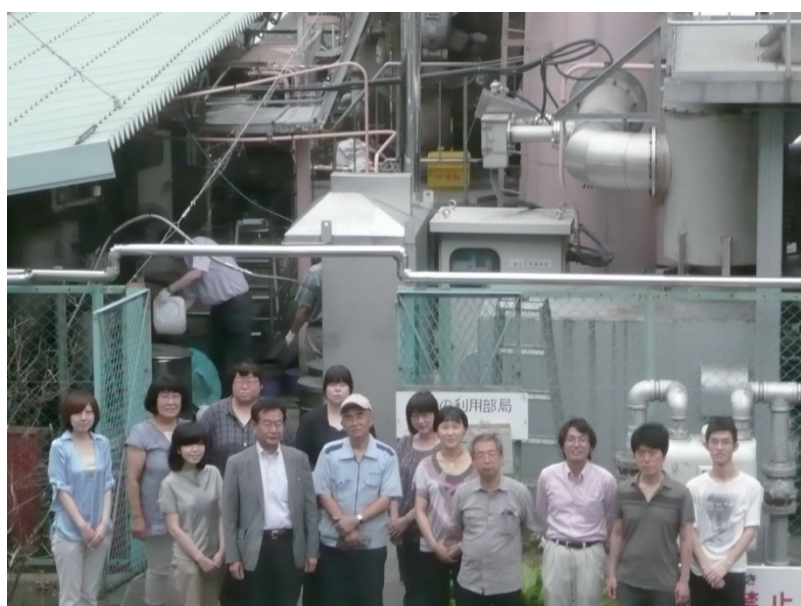
「原点処理・排出者責任」を出発点に、京都大学の教職員・学生により運用されてきた京都大学有機廃液処理装置(KYS)。そのKYSは、1974年(S49)に完成した。その後39年間運転してきたが、遂に2013年(H25)6月運転を停止することとなった。この間運転日数は3,311日を数え、廃液処理量は約167万ℓであった。



1974年12月 設置当時



1994年10月 装置の全面改修



運転最終日、センターメンバーと記念撮影



2001年3月 ダイオキシン対策用にバグフィルター、触媒塔の設置



お世話になった皆様、長い間、本当にありがとうございました！